

〔国際会議開催〕

申 請 者	岐阜大学大学院医学系研究科 教授 藤田 広志	2035009
国際会議名称	12 th International Workshop on Breast Imaging (IWDM 2014)	
開 催 期 間	2014 年 6 月 29 日～7 月 2 日	
開 催 場 所	じゅうろくプラザ（岐阜市文化産業交流センター）（岐阜県橋本町）	
申請者の役割	Workshop Chair	

概 要：

プレストイメーシングに関する第 12 回国際ワークショップ（IWDM 2014）を、アジア初・日本初の大会として、6 月 29 日（日）～7 月 2 日（水）の 4 日間にわたり、岐阜 JR 駅前の「じゅうろくプラザ」にて開催した。参加者数は、学術関係者 168 名（国内より 65、海外 18 カ国より 103：内訳は豪州 6、欧州 53、米大陸 27、アジア 82）、その家族やスタッフ等を含めると、合計 273 名の参加となり、最大規模の参加者数であった。学術的内容として、東北大・大内憲明教授による特別講演、8 件の基調講演（韓国、台湾、マレーシアからの講演者を含む）、2 件のランチョン講演、口述セッション 9（27 演題）、ポスターセッション 2（76 演題）で構成され、プレストイメーシングに関する最新の情報の意見交換の場となった。アジアにおける大会の特徴として、超音波画像診断、高濃度乳腺、3 次元乳房画像撮影（トモシンセシス）に関するトピックスに特に焦点を当て、多くの有益な討論が活発に行われた。本領域における ICT 利用にも焦点を当て、米国で行われている実施事例として「遠隔画像診断」をアリゾナ周辺地域で行っている研究者を招聘し、基調講演が行われた。採択論文は Springer 社発行の冊子として採録し出版した。学術面以外では、情報交換の場として、ウェルカムレセプションと懇親会（Gala Dinner）を企画し、日本文化を広く紹介した（岐阜の歴史や文化を紹介する講演、着物ショー、十二単のショー、岐阜大邦楽部学生の演奏、岐阜大茶道部等によるお茶のセレモニーの実施）。次期大会 IWDM 2016 は、スウェーデンのマルメにて開催されることが決まった。